



# すいた市議会だより

No. 264 3月定例会号

編集 / 議会広報委員会

発行 / 吹田市議会

吹田市泉町1丁目3番40号

直通電話 06(6384)2696

FAX 06(6338)0920

## 市長の施政方針をただす

### 総額2,001億円24年度予算を可決

3月定例会が3月1日から26日までの会期で開かれました。市長提出の平成24年(2012年)度当初予算は、一般会計、9特別会計及び水道・病院会計で総額2,001億円となつていきます。また、介護保険条例の一部改正案など25件の条例案や、人選案件などが提出されました。

本会議初日に、昨年12月定例会から継続審査となつていた条例案のうち、一般職の任期付職員の採用に関する条例案など23件は、施行期日に係る部分等が修正され、また、市民体育館条例の一部改正案はいったん撤回された後、施行期日に係る部分等を修正するとともに、指定管理者制度を導入する内容を追加した上で、再度、提案されました。

市長提出議案のうち、市長の給料等を減額する条例案は否決され、債権管理条例案など6件と12月定例会から継続審査となっている条例案のうち14件は、慎重に審査するため次期定例会まで継続審査することになりました。

これらを除く他の議案は、すべて可決されましたが、一般会計当初予

算案と国民健康保険特別会計当初予算案は、審査の過程で原案の一部が修正されました。

なお、議員から提出された議場国旗等掲揚条例案は、賛成多数で可決されました。

#### 予算

##### 1 一般会計

平成24年(2012年)度一般会計当初予算は1,051億3,371万円で、前年度比4・7%の減となつていきます。

新年度の主な事業とその経費は、(仮称)南千里駅前公共公益施設に移設・開設する千里市民センター、千里出張所、保健センター南千里分館、千里図書館、南千里地区公民館、市民公益活動センター、平和祈念資料館、千里ニュータウン情報館、高齢者生きがい活動センター、千里花とみどりの情報センターなどの準備や管理運営に6億8,380万円、市民センター、コミュニティセンター等を本年10月から毎日開館する経費に11,860万円、介護保険の要介護・

## 議会中継が始まりました

平成24年3月定例会から本会議の様子をインターネットで放映しています。生中継のほか、録画でも放映していますので、ぜひご覧ください。

市議会のホームページの「議会中継(インターネット)」からご覧ください。



|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 主な掲載内容 | 3月定例会の概要、議会日誌.....1~3    |
|        | 各会派の代表質問・質問(個人).....4~10 |
|        | 政府等へ意見書.....10           |
|        | 常任委員会の審査から.....11~13     |
|        | 要望・陳情.....14             |
|        | 議決結果.....14~16           |

要支援に非該当の高齢者が虐待を受けている場合などに、一時的に特別養護老人ホームへ入所措置を行う事業に123万円、障がい者授産製品常設展示販売店の運営等を通して障がい者の就労の場を確保し、授産工賃の向上を図る事業に1190万円、乳幼児と保護者が集まり交流する子育て広場を運営する団体への補助に3113万円、企業間マッチング・交流・連携の支援や企業誘致情報の収集に180万円、吹田操車場跡地整備事業に4億1623万円、千里山駅周辺整備に8億8389万円、都市計画道路路南吹田駅前線の鉄道立体交差部の工事委託などに8億4122万円、小・中学校校舎と幼稚園舎の耐震補強に11億5969万円、山田第一小学校校舎改築事業に12億1723万円、(仮称)千里丘図書館の整備に4億1156万円、小・中学校の普通教室と幼稚園の保育室へのエアコン設置に3億5216万円などです。(賛成多数で可決)

2 特別会計・事業会計

国民健康保険、介護保険など9特別会計の当初予算の総額は752億2462万円で、前年度比5.0%の増となっています。そのうち国保会計は366億2730万円で2.8%の増、介護保険会計は205億4142万円で11.6%の増となっています。

○古江台6丁目「健康の森」保全に関する請願

市民から長く身近な森として親しまれてきた「健康の森」がマンション建設計画により破壊されないよう、早急に適切な対策を講じ、最大限保全してほしい。

不採択となった請願

○国民健康保険運営協議会答申に十分配慮した財源確保策の立案を求める請願

○「事業見直し会議」での評価結果を再考し市民サービスを削減させないことを求める請願(継続審査分)

採択請願の処理報告

12月定例会で採択した請願2件について、市長から処理結果の報告がありました。

○福祉バス貸付事業に関する請願

高齢者団体用福祉バス貸付事業は、高齢者関係団体の地域福祉活動

ています。また、土地開発公社の解散方針に伴い、今後の都市計画道路事業に係る国庫補助金等の収受のために公共用地先行取得会計が3億9200万円で創設されました。水道事業会計は88億3841万円で前年度比2.2%の減、病院事業会計は109億2309万円で2.5%の減となっています。(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3特別会計と病院事業会計は賛成多数で可決)

主な条例

※平成23年12月定例会提出の継続審査分

○市民会館条例の廃止

本年9月30日をもって市民会館を廃止するものです。(賛成多数で可決)

○手数料条例、交流活動館条例、男女共同参画センター条例、留守家庭児童育成室条例、市営葬儀条例、廃棄物の減量及び適正処理条例、花とみどりの情報センター条例、青少年フリースペースセンター条例及び文化会館条例の一部改正

使用料・手数料及び自己負担金改定に関する基本方針に基づき、手数料や施設使用料の改定等を行うもの

○東日本大震災災害廃棄物の広域処理に関する請願

本市の資源循環エネルギーセンターの焼却炉は、大阪府域における東日本大震災の災害廃棄物処理に関する府の指針において、災害廃棄物の処理に用いないものとされている灰溶融炉であり、現段階では災害廃棄物の焼却処理の予定はない。なお、被災地域内における災害廃棄物の処理支援については、広域的取り組みの可能性について協議していきたい。

人事

3月定例会では、次の方々の選任に同意しました。

監査委員(任期4年)

千里山西4丁目6番7号  
金子 薫氏

人権擁護委員(任期3年)

山田西1丁目22番A2-906号  
藤原 俊介氏

議会日誌

12月定例会閉会後の主な議会活動は、次のとおりです。

です。(男女共同参画センター条例、留守家庭児童育成室条例、廃棄物減量及び適正処理条例は賛成多数で可決)

※平成24年3月定例会提出分

○市税条例の一部改正

地方税法の一部改正等に伴い、個人市民税に係る均等割の税率の引き上げなどを行うものです。(賛成多数で可決)

○国民健康保険条例の一部改正

前納報奨金交付制度を廃止するとともに、賦課限度合計額を73万円から77万円に改定するものです。(賛成多数で可決)

○身体障害者及び知的障害者福祉年金支給条例の一部改正

身体障がいの程度が4級から6級までの20歳以上の身体障がい者を受給資格者から除き、精神障がいの程度が1級から3級まで(20歳以上の者については1級)の精神障がい者を受給資格者に加えるなどの見直しを行うものです。(賛成多数で可決)

○介護保険条例の一部改正

平成26年(2014年)度までの各年度における第1号被保険者に係

〔1月〕  
23日 議会広報委員会  
30日 議会運営委員会

〔2月〕  
16日 吹田操車場等跡利用対策特別委員会  
17日 市民病院の在り方検討特別委員会  
20日 都市環境防災対策特別委員会  
23日 議会運営委員会  
27日 議会改革特別委員会

〔3月〕

1日 本会議、議会運営委員会  
8日 本会議、議会運営委員会  
9日 本会議  
12日 本会議、議会運営委員会  
13日 本会議  
14日 常任委員会(財政総務、文教、市民、福祉環境、建設)  
15日 常任委員会(財政総務、文教、市民、福祉環境、建設)  
16日 常任委員会(財政総務、文教、市民、福祉環境、建設)  
19日 常任委員会(財政総務、文教、市民、福祉環境、建設)  
21日 常任委員会(財政総務、文教、市民、福祉環境)  
22日 常任委員会(財政総務、文教、市民、福祉環境)  
23日 議会運営委員会  
26日 本会議、議会運営委員会、常任委員会(財政総務、文教、市民、福祉環境、建設)

る保険料率を改定するものです。(賛成多数で可決)

○自動車駐車場駐車料金徴収条例の一部改正

本年9月30日をもってJR吹田駅南立体駐車場を廃止するものです。(審査内容の一部は11、13面に、議決結果は14、16面に掲載)

単行事件

○(仮称)吹田市立千里丘図書館建設工事(建築工事)請負契約の一部変更

現場での品質確保や安全面に対する管理、工事期間の施工量などを再検討した結果、工期に日数を要することになり、完成日を3か月延長し、本年10月17日とするものです。

請願

3月定例会では、市民から提出された請願3件のうち、2件を採択し、1件を不採択としました。また、12月定例会に提出された請願1件(文教市民、福祉環境委員会に分割付託)を不採択としました。

採択された請願

○吹田市福祉巡回バス「ぎぼう号」廃止を慎重に求める請願

会派の構成(5月1日現在)

※会派内の順序は議席番号順

日本共産党(8人)

村口 始、倉沢 恵、柿原 真生、上垣 優子、矢野 伸一郎、野田 泰弘、小北 一美、島 晃、竹村 博之、塩見 みゆき、玉井 美樹子、山根 建人

公明党(7人)

井上 真佐美、吉瀬 武司、坂口 妙子

民主市民連合(6人)

澤田 雅之、竹内 忍一、和田 学、山本 力、自由民主党の会(5人)、柿花 道明、橋本 浩、藤木 栄亮、奥谷 正実、豊田 稔

吹田新選会(4人)

足立 将一、神谷 宗幣、山口 克也、後藤 恭平

すいた市民自治(2人)

西川 厳穂、池淵 佐知子

すいた市民クラブ(2人)

生野 秀昭、梶川 文代

吹田いきいき市民ネットワーク(1人)

中本 美智子

みんなの党吹田(1人)

榎内 智



## 代表質問・質問から

3月8日、9日、12日、13日の4日間で33人の議員が代表質問、質問（個人質問）を行いました。その一部をお伝えします。（会派の構成議員数により、掲載スペースが異なります。）  
詳細な内容は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所の情報公開課、図書館や地区公民館等に備えています。また、市議会のホームページでは、会議録の検索・閲覧、本会議の録画放映の視聴ができます。

### 日本共産党

#### ◆代表質問 塩見みゆき

#### なぜ今、急激に福祉を削るのか 市民生活に対する認識を問う

**問** 年金の引き下げ、国保料・介護保険料の引き上げ、年少扶養控除の廃止などの負担増で、市民生活は大変である。なぜ今、福祉巡回バスきぼう号や福祉年金、歳末見舞金、老人医療費助成、障がい者作業所への補助金など、急激に福祉施策を削るのか。特に弱者への影響が大きいのが、市長の市民生活に対する認識を問う。  
**答市長** 景気低迷が長引き、雇用環境は厳しく、年金や医療、介護など社会保障制度の不安定感により、市民生活を取り巻く社会経済情勢の先行きは厳しさを増している。

#### 今後の事業見直し 市民の声を反映すべき

**問** 事業見直しは、市民や関係団体との意見交換や話し合いをして、市民の声を反映すべきではないか。  
**答市長** 今後、約1200事業の見直しを行うが、広く意見を頂ぎ、最少のコストで最大の効果を上げる事業体系へと再構築を図りたい。  
**給食は教育の一環  
小学校給食の民間委託はやめよ**  
**問** 本市の小学校給食は、市職員が全工程に責任を持ち、安全でおいしい給食を児童に提供している。調理を民間委託している市では、加工品が増えたなどの報告が上がっている。効率化の名の下で、安上がりの民間委託を踏まえ効果的な事業推進に努める。

#### ◆質問

山根 建人

#### 南吹田まちづくりは住民主体で

**問** 南吹田駅前線整備、旧紀州製紙跡地開発等は住民主体で行え。  
**答建設緑化部長** 通学路などの交通安全対策は住民意見を聞き、警察等と協議する。沿道の植栽、地下歩道へのエレベーター設置を検討する。  
**答政策推進部長** 同跡地開発は周辺まちづくりに大きな影響を及ぼす。事業者に対して適切に対応していく。  
**問** 吹田南小学校過大校対策を示せ。  
**答学校教育部長** 校舎増築などの方策により、普通教室の確保に努める。

#### ◆質問

竹村 博之

#### 35人学級導入事業は廃止するな

**問** 35人学級導入事業は市独自で小学校3年生と中学校3年生に拡充する事業で評価してきた。今回、事業見直しで小学校について廃止するのは、教育の後退ではないか。  
**答教育監** 中学校3年生だけを対象にして、よりきめ細かく充実する。  
**問** 住宅リフォーム助成事業など、市内中小零細事業者の仕事おこしや地域循環型の経済対策の検討は。  
**答産業労働にぎわい部長** 商工業振興対策協議会等で検討、研究したい。

託すべきでないのではないかと。  
**答市長** これまで本市が担ってきた公共サービスでも、質を確保しながら事業効率の向上を図ることができると、民間委託を推進する考えであり、小学校給食調理業務の委託化の取り組みを進めていきたい。

#### ◆質問 柿原 真生

#### 歳末見舞金廃止は認められない

**問** 全国で相次ぐ餓死事件は、生活困窮者全てが生活保護にたどりつくわけではないことを示している。見舞金の果たす役割は重要であり存続すべきだ。市が言っていた貧困の連鎖を断ち切る方策はどうなったのか。  
**答福祉保健部長** 経済的支援としては限定的なもので、見舞金を他の福祉サービスに再構築するのは困難であり、廃止した。子どもの貧困の連鎖解消について他市の取り組みも参考にしながら、検討していきたい。

#### ◆質問 玉井美樹子

#### 福祉巡回バスきぼう号は継続を

**問** きぼう号について4月から廃止と決定する前に市民に知らせているのはなぜか。高齢者や障がい者などにとっては日常生活になくてはならないものとの利用者からの声がある。代替策の検討や、代替策ができる

### 公明党

#### ◆代表質問

坂口 妙子

#### 大腸がん検診無料クーポン配布 早期に実施せよ

**問** 近年、大腸がん患者が増えている。自覚症状がほとんどないため、早期発見のためには検診が重要である。現在の検診に加えて検診無料クーポン配布を実施してはどうか。  
**答市長** 早期発見、早期治療につながる、大腸がん検診の無料クーポン配布の実施については、前向きに検討していきたい。



大腸がん検診の問診

#### 防災計画見直しに取り組み

**問** 東日本大震災から1年がたち、

るまでの間、継続することを求める。  
**答福祉保健部長** 周知方法に誤りがあったことを深くおわびする。代替策等については研究していきたい。



きぼう号の代替策が求められる

#### ◆質問

上垣 優子

#### 障がい児学童保育の年限延長を

**問** 北摂7市中、本市と摂津市以外の市で学童保育の小学校4年生以降の受け入れが進んでいる。特に障がいのある児童を育て働く保護者には、学童保育は他に替えられない。障がいのある児童の4年生以降の受け入れについて、進ちよくはどうか。  
**答児童部長** 障がいのある4年生以降の児童の受け入れは他の自治体でも進む中、よりニーズが高く喫緊の課題と認識している。関係部局と協議を行い、引き続き検討を進める。

#### ◆質問

倉沢 恵

#### エキスポ跡地大規模開発の 環境、交通問題について

**問** 三井不動産がエキスポ跡地で進

防災計画の見直しが不可欠である。女性の視点からの防災対策の取り組み、津波・洪水避難ビル指定、福祉避難所指定、学校施設の地域防災拠点の対策をどう進めるのか。  
**答危機管理監** 防災会議に女性委員を登用する方向で検討している。また学校防災機能の充実に努めたい。  
**答福祉保健部長** 福祉避難所指定に向け、関係部局及び高齢者、障がい者支援事業者と連携し検討したい。

#### ◆質問

島 晃

#### 後発医薬品促進のための提案

**問** 急速に進む高齢化により医療費が膨らみ続け、保険者である市の財政破たんを危ぐする状況である。現在2か月に1度、医療費の通知を被保険者の方々に郵送しているが、医療費の削減、抑制のために、同通知に後発医薬品利用差額を記載することを提案する。  
**答福祉保健部長** 後発医薬品利用差額通知は、医療費適正化に必要な取り組みとされており、早期実施に向け、関係部局との協議を進めたい。

#### ◆質問

小北 一美

#### 行政財産目的外使用をただす

**問** 市役所敷地内にある事務所を職員組合に無償で貸し続けてよいの



か。また、同敷地内駐車場の使用料も、有料にすべきではないか。

**答市長** 職員組合の事務所・駐車スペースの無償使用は見直すべき時期と考えており、応分の負担を求める。

**問** 岸部第二小学校の施設の一部を、教職員組合をはじめ二つの職員団体が無償で事務所として使用しているが、学校施設から組合事務所は退去すべきではないか。

**答教育監** 学校施設を職員団体の事務所として無償使用させていることなどは市民理解を得るのは困難であり、早急の改善が必要と考えている。

◆質問 **野田 泰弘**

**職員の勤務時間中の組合活動は許されない**

**問** 市立保育所20園の執行委員21名、四役の7名が月3回、本庁内の職員会館を利用し、勤務中にもかかわらず組合活動を行っていた。勤務中の組合活動は認められず、給料の返還を迫るべきである。

大阪市と同様に第三者調査機関を設置し、本市のヤミ専断的な職員を徹底的に調査し、組合活動を正常化しなければならない。

**答児童部長** 職務専念義務違反であり、欠勤扱いとして過去5年間にさかのぼり、給与約2830万円の返納が必要だと現時点では考えている。

◆質問 **澤田 雅之**

**食物アレルギーへの対応**

**問** 小・中学校における自己注射薬エピペンの使用と食物アレルギーへの対応について聞きたい。

**答学校教育部長** アレルギー症状について特に配慮が必要な児童、生徒は24名であり、うち9名にエピペンが処方されている。また、学校関係者向けにアナフィラキシー発症時の対処などの研修や講演を開催しており、今後も適切な対応に努めたい。

**学校施設の防災機能強化**

**問** 学校をより安全な避難場所とするための整備計画について聞きたい。

**答学校教育部長** 現在、校舎の耐震化工事を最優先に行っており、防災機能の強化については、関係部局と連携し取り組みたい。

◆質問 **山本 力**

**(仮称)千里丘北小学校の建設計画の1年延長を問う**

**問** 千里丘毎日放送跡開発計画延長(2期が1年、3期が2年)を受け、(仮称)千里丘北小学校の開校を当初予定の平成26年(2014年)4月から1年間延長する理由と、山田第二小学校への影響を聞きたい。

◆質問 **吉瀬 武司**

**まちづくりの課題解決と機能強化を求める**

**問** まちづくりの概念と対応力の強化が、都市空間の質や生活の質の向上につながり、まちの質と土地の評価を向上させる効果がある。まちづくりに対する機構、体制の強化及び各部のさらなる連携を求める。

**答副市長** 住民の参画を得ながら、本市の考え方を明確に事業者に示し、庁内横断では考えられない新たな課題への対応にも努力したい。

◆質問 **井上真佐美**

**がん検診の自己負担金値上げは見直せ**

**問** がん検診事業は、市民の命と健康を守る最も重要な事業である。検診受診率が国のがん対策推進基本計画の目標に達していない現状で、ほかの使用料、手数料の改定と同様に値上げすべきではないと強く訴える。近隣他市と比較すると、自己負担金額と受診率は反比例しており、自己負担金値上げは、市民満足度の高い市政を推進するとの市長の公約に矛盾するのではないか。

**答市長** 今回の見直しは受益と負担の公平性確保の観点から必要と考え

ている。今後も受診率向上のため、近隣他市の状況も勘案しながら、可能な限りの方策を講じたい。

◆質問 **矢野伸一郎**

**はり・きゅう・マッサージ助成の縮小決定通知発送は議会軽視**

**問** 3月議会で議論されるべき、はり・きゅう・マッサージ助成事業の縮小について、市ホームページトップの新着お知らせに、事業縮小決定と掲載されていたり、利用者に個別に事業縮小決定通知が送られていた。誤発送に使われたむだな税金はいくらになるのか。誰の指示で、どのような責任をとるのか。

**答福祉保健部長** 担当部長として深くおわびする。人件費を含む費用は、約13万円であり、今後、市民への周知については、このようなことのないよう細心の注意を払いたい。

## 民主市民連合

◆代表質問 **川本 均**

**維新改革の工程と歳入予算の構成を問う**

**問** 福祉関連バス事業などの廃止・縮小は、吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例に反するのでは

協議する必要があると認識している。

◆質問 **和田 学**

**損害賠償事故を未然に防げ**

**問** 建設緑化部で損害賠償事故が過去5年間で何件発生し、現場確認はどれだけ出来ているのか。

**答建設緑化部長** 過去5年で5件発生している。日々の巡回強化や市民の通報等により道路損傷状況を確認し、今後さらに安全管理に努めたい。

**万博公園南側ゾーンについて**

**問** 新サッカースタジアム建設を含む万博公園の南側ゾーンの活性化と周辺地域の環境課題等について行政の窓口を一本化すべきではないか。

**答市長** スタジアム建設の検討会議はすでに設置しているが、複合型娯楽施設の内容が未定であり、今後両事業を調整する組織を設置したい。

## 自由民主党堺の会

◆代表質問 **藤木 栄亮**

**公共施設の使用料減免措置は政治的中立性を担保せよ**

**問** 昨年10月、男女共同参画センターに慰安婦問題の解決を求める運動に特化した団体から使用団体とし

ないか。条例との整合性についての所見を求める。

**答福祉保健部長** 条例に定める基本理念はなんら変わるものではない。今後も条例に基づき、各種福祉施策の推進を図っていく。

**問** 臨時財政対策債を発行しないのはなぜか。

**答財務部長** 臨時財政対策債の発行可能額の算出方式が平成25年(2013年)一度には、人口基礎方式から財源不足額基礎方式に完全移行されるため、本市においては、発行可能額が大きく減少すると見込まれる。また、改革の工程に基づき、平成25年(2013年)度から発行しないことにしており、結果的に、赤字補てん財源が減収となることを先取り、早期に対応することができたものと考えている。

**問** 地元経済の維新の具体的な施策を示し、推進すべきではないか。

**答産業労働にぎわい部長** 市内事業者の定着の促進、新産業の育成や起業家の支援を積極的に図るとともに、企業誘致を図ることなどで市税収入の増収を図りたい。

ものづくり中小企業等を対象に企業情報収集・支援事業も実施し、今後も地元経済の循環と活性化に資するため、必要な調査や実態把握を行い、中小企業に対する施策を実施したい。

ての許可申請が提出され、受理された。さまざまな問題を抱えた慰安婦問題の解決に特化した活動を行っている団体が、自らの政治目的を達成するために、市民の血税が投入されている同センターを利用し、施設利用にあたり減免措置も受けている。行政の政治的中立性、税の適正な執行の観点から、我が会派は市の判断に断固として反対の意を述べる。副市長の見解を問う。

**答副市長** 公共施設の減免措置に関して、減額団体への登録受付時点において、その利用が施設本来の設置目的に合致しているか否かについて、より慎重に見極めて判断したい。



公共施設の本来の設置目的と合致した使用が望まれる

**学習指導要領に沿った副教材を**

**問** 近現代史において自虐史観に基づくような偏向した教材を使用している教師が一部学校現場にいる。副教材についてどのようなチェックをしているのか。



副教材は公文書であり、情報公開請求の対象となる。保存期間は何年なのか。各学校で副教材の保管に関して、きちんと管理されているのか。教育委員会の見解を問う。

**◆質問** **柿花 道明**  
**事業見直しについて**  
**問** 福祉巡回バス（きぼつ号）が廃止されようとしている。代替するものを市として考えていないのか。  
**答福祉保健部長** どのような方策があるのか、今後も引き続き関係部局と連携し研究したい。

**◆質問** **橋本 浩**  
**質問**  
**おおさか東線南吹田駅周辺のインフラ関係の整備を進めよ**  
**問** 南吹田地域では平成30年（2018年）度の新駅開業を目指して本

すいた市民自治

**◆代表質問** **池瀬 知子**  
**高額所得者に明渡し請求せよ**

**問** 公営住宅法第一条の公営住宅の目的に反して市営住宅に居住する高額所得者に明渡し請求をしているか。  
**答都市整備部長** 市営住宅への入居を希望しながら入居できない市民が多数いる一方で、高額所得者が市営住宅に入居し続けることは、著しく公平を欠き、社会正義にも反すると理解している。特別な事情もない高額所得者には明渡し請求等の法的措置を含め適切な措置を検討したい。

**報酬及び費用弁償条例を見直せ**

**問** 非常勤特別職の月額報酬額が、月途中の職務異動により増減する場合、日割り計算とすることは合理性があるのではないか。  
**答総務部長** 市民感覚から考えても、日割り計算による報酬額が適正であると考えてるので、支給方法の変更手続きを進めていきたい。

**◆質問** **西川 敏穂**  
**木造住宅の耐震改修を促進せよ**

**問** 市では安価な耐震改修促進策と

格的に工事が始まる。本市の南の玄関口として発展するためには周辺のインフラ整備が不可欠ではないか。  
**答市民文化部長** 南吹田地域は、コミュニティ施設の未整備地域となっており、機会あるごとに検討してきた。新駅開業に伴い地域の発展が予測されるため、今後もコミュニティ施設整備を検討したい。  
**答建設緑化部長** 自転車駐車場の整備、路線バスの導入については、新駅の開業に合わせて関係機関と協議を進めたい。

**◆質問** **奥谷 正実**  
**学校の防災拠点化を推進せよ**

**問** 東日本大震災を踏まえ文部科学省が緊急提言した学校防災拠点化を全庁挙げて推進すべきではないか。  
**答市長** 学校は地域の防災拠点であると考えており、学校の防災体制・機能強化を推進していきたい。

**徹底した債権管理に取り組め**

**問** 吹田市債権管理条例制定にあたり、債権を一元管理し、新たに債権管理室を設置し、市長直轄の債権管理監を置き、債権回収に取り組み。  
**答市長** 4月以降は副市長を債権管理統括責任者とし、全庁横断的なプロジェクトチームを立ち上げ、徹底した債権管理に取り組みたい。

すいた市民クラブ

**◆代表質問** **梶川 文代**  
**外郭団体の改革について**

**問** 外郭団体への天下りの撤廃や、事業内容等の監視・指導、そして時には厳重な処罰も必要である。例えば、吹田市開発ビル株式会社は随意契約で駐輪場の警備業務を請け負っているが、同社の定款に警備業務の記載がない。警備業の認定を受けているのであれば記載があるはずである。確認すべきではないか。  
**答財務部長** 同社に確認したところ、警備業の認定を受けていなかった。業者登録時に確認が漏れていたことを深くお詫びする。

**問** 同社が資格もなく申請・登録をして、警備業務を請け負ってきたこ

吹田新選会

**◆代表質問** **足立 将一**  
**歳入確保と地元経済の維新**

**問** 歳入確保については、施政方針に使用料の値上げや収納率の向上が書かれているが、それでは市税収入の落ち込みに対応できない。地元経済の維新を掲げていたが、市内産業が潤い、税収が上がるような政策を考えているのであれば聞きたい。  
**答市長** 商工会議所を通じて企業代表者との懇談会を行っている。

**問** 地元経済の維新という言葉と、政策とが一致していないように感じるが、見解を聞きたい。  
**答市長** 地道な取り組みが大切であると考えている。

**問** 歳入確保策の一つとして、市長はふるさと納税による寄附について述べていた。1500人いる市外在住職員に率先して協力してもらうべきだという提案に対し、9月定例会の答弁で市長及び政策推進部長は積極的な姿勢を示していた。昨年度の結果はどうだったのか。  
**答政策推進部長** 4件で、11万5000円であった。

**問** 職員の協力を得られなかった原因をどのように分析しているのか。

とは、警備業法違反である。厳正に対処することを求める。  
**答市長** 本市のチェックの甘さや同社側の瑕<sup>け</sup>疵<sup>み</sup>も認められると思う。十分調査をした中で、今後、このようないことがないように努めたい。

**◆質問** **生野 秀昭**  
**山三電柱移設公道整備への助成**

**問** 私道舗装助成要綱を準用し、公道整備の個人負担助成ができないか。  
**答建設緑化部長** 要綱準用は難しい。障害電柱の改善に向け協議している。

**中学武道必須化、指導者育成は**

**問** 柔道は危険を伴う。フランスでは、指導者に400時間の講習や救急救命士資格が必要である。本市は。  
**答教育監** 約6時間の研修を行っているが十分ではない。指導力向上、安全管理の研修を充実したい。

みんなの未来

**◆代表質問** **榎内 智**  
**議会も覚悟を持って改革をすべき**

**問** 私は議会改革特別委員会で議員報酬30%カット、議員定数9議席減を提案した。市長はこれまで17年間

**答政策推進部長** 取り組みの視点が狭かった。今後は市外在住職員に限らず広く全職員に呼びかけたい。

**大阪維新の会との整合性**

**問** 今回の施政方針を見ても維新八策との整合性や、大阪維新の会との共通性を感じられない。今後同会のメンバーとして市長を続けるのか。  
**答市長** 現在は首長としての立場を最優先に市政運営を行っている。

**問** 大阪維新の会の政策を本市において実行しないのであれば、同会に期待して投票した市民もいるので、明確な説明を聞きたい。  
**答同** 大阪維新の会から方向性が違うとの指摘を受けたことはない。

**◆質問** **後藤 恭平**  
**職員の休暇・休職制度を見直せ**

**問** 市長は市民感覚で制度改革を行うと言っているが、病気休暇の90日間は給与を満額支給、病気休職の1年間は給与の80%支給、休職期間は3年間という制度の下、休暇・休職者全員が必ず1年と90日間は給与を制度通り受給できるという現制度を見直すことはできないか。  
**答総務部長** 国、大阪府、他の自治体においても同様の取り扱いであり、指摘された部分の運用の変更は非常に困難である。

も開かれなかった特別職報酬等審議会を開いたが、これは、議会に対しても改革の思いがあつてのことだと推察するが、いかがか。  
**答市長** 私は大阪府議会議員の時、議員報酬30%カットを実現した。議員報酬については、特別職報酬等審議会規則に従って諮問しているが、同審議会の答申がいかなるものであると、議会改革特別委員会において、答申を上回る改革をされることは尊重されるべきと認識している。

**◆質問** **山口 克也**  
**扶助費を大幅にカットすべきではない**

**問** 吹田の他市よりも充実した福祉のメニューは、むだづかいではなく、本市が積み上げてきた資産である。福祉を守るために、他の部分を削るなどの手法で財源をつくることのできるかと考えるが、扶助費を高率でカットした理由を聞きたい。  
**答政策推進部長** 平成21年（2009年）度決算において、本市の住民一人当たりの単独扶助費は、府内特別市の平均8610円に対し、約2倍の1万6542円という突出した状況であった。将来の社会保障費の増加に対応するため、単独扶助費について一定の見直しを行い、その財源に充てざるを得ないと判断した。



## 吹田いきいき 市民ネットワーク

### ◆質問

中本美智子

### 3歳児の視力検査手法を見直し

**問** 弱視等の視覚異常に対する発見・治療は、3歳から就学前の期間に行うことが重要であるが、本市の3歳児に行う視力検査手法は十分でない。一次検査を家庭でのアンケートで終わらせず、新たな検査機器を導入し、医師による診断を行うことや、保育園・幼稚園での視力検査の実施徹底など対策が必要ではないか。  
**答** 福祉保健部長 視覚二次検査が必要とされた方の受診率が低いことは、課題であると認識している。  
**答** 副市長 検査機器の導入には、医師会との議論が必要となる。今後、できることから研究していきたい。

### 政府等へ意見書

次の意見書案6件を可決し、政府等に送付しました。

### ◆若者雇用をめぐるミスマッチ解消を求める意見書

次の項目を迅速かつ適切に講じるよう強く求める。(1)ハローワークと就職支援サイトとの連携強化によ

り、中小企業に関する情報提供体制の充実を図ること(2)有期実習型訓練を実施する中小企業に対する助成金制度を拡充すること(3)JOBカフェ強化型事業やドリーム・マッチプロジェクトの継続、又は同様の取組の拡充を図り、学生と中小企業の接点を強化すること(4)地域の中小企業と関係団体が協力し、新入社員への基礎的な職業訓練、能力開発を一体的に実施するなど、中小企業への定着支援の充実を図ること。(全員賛成)



### ◆都市再生機構（UR）賃貸住宅（旧公団住宅）を公共住宅として継続し、居住者の居住の安定を求める意見書

次の事項を強く要望する。(1)UR賃貸住宅は、公共住宅として本市の住宅政策を始め、まちづくり、防災計画等に積極的な役割を担っており、今後とも政府が直接関与する公

共住宅として継続すること(2)UR賃貸住宅では居住者の高齢化と低収入化が急速に進む一方、子育て世帯にとっても必要な公共住宅であり、UR賃貸住宅を住宅セーフティネットとして位置付け、居住者の居住の安定策を推進すること(3)公共住宅の役割を明確にし、民間公共住宅の区別なく、最低限度の居住保障に関する住宅政策を確立すること。(賛成多数)

### ◆デフレ対策の政策を求める意見書

バブル崩壊後、日本経済は国内の供給能力に対して需要が不足する、デフレギャップを抱えている。しかし、政府はデフレ対策を実施するどころか、構造改革や規制緩和、需要抑制策である公共事業削減、増税といったデフレ促進策を打ち続けている。現在のデフレ促進策を転換し、国債発行、公共事業などの財政支出、日銀による国債買取りという正しいデフレ対策を速やかに実施するよう要望する。(賛成多数)

### ◆消費税増税に反対する意見書

政府は、消費税増税法案を3月末までに国会へ提出するとしているが、消費税は低所得者ほど負担が重い逆進性の強い税金であり、この不況下で消費税増税を行えば庶民生活を直撃し、更なる景気低迷という悪

循環をもたらすことになる。今の時点では消費税増税を行わないよう強く要望する。(賛成多数)

### ◆公的年金2・5%の引下げに反対する意見書

厚生労働省は、年金支給額の特例水準を解消するとして、3年間で2・5%の年金引下げを行おうとしているが、現時点では引下げを行わないよう強く要望する。(賛成多数)

### ◆「人権侵害救済法案」国会提出に反対する意見書

法務省は、新たな人権侵害救済機関を設置するとして、人権侵害救済法案を今国会に提出しようとしているが、同機関は国家行政組織法に基づく、内閣の指揮監督を受けない強い権限を持つ独立機関であり、安易な設置は認められない。同機関の設置に反対し、同法案を国会に提出しないよう強く要望する。(賛成多数)

### 議員提出議案

次の条例案が議員から提出され、賛成多数で可決されました。

### ◆議場国旗等掲揚条例

(提出者 藤木議員ほか5人)  
議場に国旗及び市旗を掲揚するものです。

### 常任委員会の審査から

各委員会に付託された主な議案について、審査した内容の一部（主な質疑項目、意見の概要）をお伝えします。

## 財政総務

### 職員の退職手当条例の一部改正

(賛成多数で承認)

#### △主な質疑項目

- 12月定例会での審査分
- 財政非常事態の中で退職手当増額につながる見直しを行う理由
- 給与制度改革での予定削減額に不足する7000万円のねん出方策
- 3月定例会での審査分
- 国・大阪府準拠が不徹底である現状に対する認識

### 市税条例の一部改正

(賛成多数で承認)

#### △主な質疑項目

- 税率を引き上げる必要性
- 一般財源ではなく、防災等事業へ増収分を充当するための検討
- △賛成意見の概要
- 1 使途を明確にする会議を設置し、説明責任を果たされたい。
- 2 増収分を特定財源化し、目的

に沿う予算執行を考えられたい。

- 3 防災、減災等につながる使途、目的を早急に検討し、決定されたい。
- △反対意見の概要

東日本大震災被災地への支援のためではなく、また、被災者も含めた庶民増税であるため賛成できない。

### 特別職の給与条例及び退職手当条例の一部改正

(賛成少数で否決)

#### △主な質疑項目

- 市長と副市長の給料月額が逆転している状況の適正化
- 特例条例制定後に特別職報酬等審議会に諮問した理由

### 土地開発基金条例の一部改正

(全員賛成で承認)

#### △主な質疑項目

- 土地開発公社の財産等清算の流れ
- 銀行と借入金金利の交渉をしていない同公社に繰出金を支出する理由
- 防災等複合施設予定地処分による今後の防災体制への影響
- △意見の概要

月額200万円の利息を払うことを考えれば認めざるを得ないが、市民には全てを正確に説明されたい。

### 一般会計予算中所管分

(賛成多数で承認)

#### △主な質疑項目

- 土地売却収入計上の法的根拠
- 公有財産売却の市民への説明
- 人事評価の給与への反映方法
- 東日本大震災の経験をいかした災害時の体制整備
- 円滑な改革のための職員意識改革
- 防災ハンドブックの内容改善
- 市民サービスを削減してまで緊縮予算を組む必要性
- 土地開発公社解散手続に伴い一般会計から補てんする損失額
- ※なお、審査の過程において、理事者から歳入で不動産売却収入10億円を10000円に、個人市民税245億47万6000円を245億47万5000円にそれぞれ減額し、財政調整基金繰入金24億円を34億円に増額する原案の一部修正案が出され、委員会はこれを承認しました。
- △賛成意見の概要
- 1 市民生活に大きく関わる当初予算を慎重に審議するため、説明や資料の準備などに十分配慮されたい。
- 2 市民負担を強いる前に公務員制度や外郭団体の改革など、行政内部を徹底的に見直されたい。
- 3 議会の指摘で、法に反すると思われる不動産売却収入を財政調整基金取崩しに修正したが、こういった予算編成がないよう強く要望する。
- 4 臨時財政対策債を発行せず、大幅な歳入不足の外形をつくることで起こった市民サービス削減、土地

## 文教市民

### 一般会計予算中所管分

(賛成多数で承認)

#### △主な質疑項目

- 総合生活相談事業において業務量に見合う人員体制に見直す必要性
- (仮称)地域委員会設置において地域コミュニティの実情を把握し慎重に枠組みを構築する必要性
- 再開発が進む千里山駅前におけるコミュニティ施設の設置予定
- 地元経済活性化につながる新たな商工振興施策の有無
- 学校現場の課題が効率よく解決できる組織体制
- 図書館窓口業務を委託している図書館の業務運営の状況



図書館の窓口



○体育施設への指定管理者制度導入によりコスト削減を図る必要性  
○民間と比べて低廉な本市のテニスコート使用料の妥当性

▲賛成意見の概要▼

1 市民会館の代替措置として勤労者会館は毎日開館されたい。また、高齢者、障がい者、子どもに関わる事業見直しは慎重に行われたい。

2 図書館の図書等の購入については制度の透明性を図り、説明責任を果たすとともに、公正で効率的に購入されたい。

▲反対意見の概要▼

1 本市財政を建て直すには財源確保が有効であり、商工振興施策のさらなる展開が必要であるが、具体的な予算措置がなく、認められない。

2 小学校給食の外部委託、高等学校等学習支援金の所得制限厳格化、図書館窓口業務委託の拡大等は市民への影響が大きく、認められない。

男女共同参画センター条例の一部改正  
(賛成多数で承認)

▲主な質疑項目▼

※12月定例会での審査分  
○使用料減免制度の継続実施の有無  
※3月定例会での審査分  
○使用料値上げにより同センターの設置目的が果たせなくなる可能性  
○使用者数を激減させない配慮

▲反対意見の概要▼

※なお、審査の過程において、理事者から保険料の負担増を緩和するため、財源確保の期間を3年から5年にする原案の一部修正案が出され、委員会はこの承認しました。

▲反対意見の概要▼

国民健康保険会計の悪化は国の責任であり、市民に負担を強いる保険料値上げには賛成できない。

身体障害者及び知的障害者福祉年金支給条例の一部改正  
(賛成多数で承認)

▲主な質疑項目▼

○家計状況に基づく障がい者福祉年金支給の判断  
○他の事業見直しや負担増と合わせた影響を考慮する必要性

▲反対意見の概要▼

負担が増える今こそ、福祉年金事業で障がい者と家族の生活を支えるべきであり、削減には賛成できない。

介護保険条例の一部改正  
(賛成多数で承認)

▲主な質疑項目▼

○介護保険料の上昇率が他市よりも高い理由及び抑制策の有無  
○同保険料の減免制度充実の必要性

▲反対意見の概要▼

国の制度改定とはいえ、保険料引き上げによる負担増は賛成できない。

使用者の切実な声がある現状では、その意見をよく聞いて進めるべきであり、性急な改定はすべきではない。

市民会館条例の廃止  
(賛成多数で承認)

▲主な質疑項目▼

○市民会館周辺の貸館施設の稼働率が高い中、同館を廃止する妥当性  
○市民活動のために使用する集会施設の利用実態の把握

▲反対意見の概要▼

使用者の意見も聞かず、長年、市民活動の拠点であった市民会館を廃止することには、納得できない。

福祉環境

一般会計予算中所管分  
(賛成多数で承認)

▲主な質疑項目▼

○出先機関を含めた環境マネジメントシステムの積極的運用の拡大  
○保育士の勤務時間における組合活動の違法性及び調査  
及び調査  
○福祉巡回バスきぼう号運行事業の廃止決定の見直し



運行が廃止されたきぼう号

▲賛成意見の概要▼

1 がん検診自己負担金改定により受診率が低下しないよう、あらゆる手段を講じられたい。

2 高齢者団体用福祉バスの年度途中での増車対応もされたい。

▲反対意見の概要▼

1 市民負担が増え、サービスも削減される予算案は認められない。

2 現状把握もない安易な事業廃止等は納得できないので反対する。

3 代替案もない、福祉事業の性急な廃止、縮小は認められない。

病院事業会計予算  
(賛成多数で承認)

▲主な質疑項目▼

○国立循環器病研究センターとの連携を前提とした地域医療の検討  
○病院内からの労働組合事務所の退去または使用料徴収の必要性

▲賛成意見の概要▼

1 福利厚生制度運営事業補助金は、廃止も含め見直されたい。  
2 地方独立行政法人化を検討し、さらに良質な医療提供をされたい。

▲反対意見の概要▼

地方独立行政法人化は民営化を進めるのと同様であり、賛成できない。  
※委員会としての意見  
労働組合の倉庫利用は、法的根拠等を整理した上で、直ちに交渉を始め、5月をめどに対応されたい。

留守家庭児童育成室条例の一部改正  
(賛成多数で承認)

▲主な質疑項目▼

※12月定例会での審査分  
○保護者に十分な説明を行う必要性  
※3月定例会での審査分  
○年度途中での保育料値上げの是非及び応能負担制度導入の検討

▲反対意見の概要▼

施設改善計画が不明確で、利用者の声に応えておらず、賛成できない。  
廃棄物の減量及び適正処理条例の一部改正  
(賛成多数で承認)

▲主な質疑項目▼

※12月定例会での審査分  
○引越しごみ収集の有料化による不法投棄増加への懸念  
※3月定例会での審査分  
○目視測定でない、明確な引越しごみ収集手数料の算定方法

▲反対意見の概要▼

低所得者等への配慮は評価するが、市民サービス後退は認められない。

国民健康保険条例の一部改正  
国民健康保険特別会計予算  
(賛成多数で承認)

▲主な質疑項目▼

○前納報奨金交付制度廃止による収納率への影響  
○急激な保険料引き上げの緩和策

視察報告

平成23年度実施した常任委員会の行政視察は、次のとおりです。

財政総務

2月14日(火)～15日(水)  
○船橋市(千葉県) 公金徴収一元化

○佐倉市(千葉県) ファシリティマネジメント推進事業

文教市民

1月31日(火)～2月1日(水)  
○八王子市(東京都) いきいき産業基本条例に基づく産業振興施策  
○相模原市(神奈川県) 中学校完全給食

福祉環境

2月13日(月)～14日(火)  
○平塚市(神奈川県) 地域福祉推進事業(町内福祉村事業)  
○品川区(東京都) 総合的な保育所待機児童対策

建設

2月13日(月)～14日(火)  
○墨田区(東京都) 老朽化したマンション・戸建て住宅などに対する助成事業  
○宇都宮市(栃木県) 自転車のまち推進計画に基づく、新たな自転車走行空間の整備などの重点事業の取り組み



要望・陳情

12月定例会閉会后、次の要望・陳情書が提出されました。

○公立保育所の一部民営化に対する陳情書（2件） ○地球社会建設決議に関する陳情書 ○障害のある子どもたちを安心して預けて就労できる保育場所の確保を求める要望書 ○障害者総合福祉法の制定を求める国への意見書についての陳情書 ○川園日の出1号線封鎖の継続、協定書3者協議の遵守確認要望 ○大阪府宮千里佐竹台住宅建替事業への要望書 ○こころの健康基本法（仮称）の法制化を求める意見書採択に関する陳情 ○T P P（環太平洋経済連携協定）への参加中止を求める意見書の衆・参両院議長への提出について ○古江台6丁目「健康の森」保全に関する陳情書 ○吹田市立公立幼稚園の保育料（施設使用料）の値上げ見直しを求める陳情書 ○「障害児童見守りの場運営補助事業」補助金打ち切りに対する利用者への説明と円滑な移行措置を求める陳情書 ○市議会3月定例会に提案される「吹田市事業見直し」のうち、縮小予定の「一部負担金相当額等助成事業（老人医療）」の「今年8月から身体障害者手帳3・4級の人は助成対象外になる」に関する陳情 ○第5期吹田市高齢者保健福祉計

画・介護保険事業計画についての要望書 ○都市再生機構賃貸住宅（旧公団住宅）を公共住宅として継続し、居住者の居住の安定を求める意見書提出の陳情書 ○吹田市私立幼稚園保護者補助金支給事業に関する陳情書 ○男女共同参画センター「デュオ」の使用料据え置きと半額減免制度の継続を求める要望書 ○商業地・公共用地等のマンション化に反対する要望書 ○景気、雇用、商売を壊す消費税増税に反対する意見書採択を求める要請書（11件） ○「日中活動重度障害者支援事業」見直しの慎重な判断を求める要望書（70件） ○吹田市議会本会議場へ国旗を掲揚しないよう求める要請（23件）

請願書や陳情書の提出について

市民の皆さんは、市政に対する要望や意見を文書にいつでも市議会に提出することができます。 請願書（請願を紹介する1名以上の市議会議員の署名または記名押印が必要）が議会に提出されると、委員会に付託して慎重に審査します。本会議で最終的に採択（取り上げるべき）と決定した場合は、市長に送付し、市長からは次の定例会に請願の処理の経過及び結果が報告されます。 また、陳情書は、その写しを全議員に速やかに配付して内容の周知を図っています。

議決結果

| 議案番号                       | 案 件 名                                             | 議決結果 |
|----------------------------|---------------------------------------------------|------|
| 継続審査案件（平成 23 年 12 月定例会提案分） |                                                   |      |
| 議案第 75 号                   | 吹田市一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定について                      | 継続審査 |
| 議案第 77 号                   | 吹田市一般職の任期付職員の給料の特例に関する条例の制定について                   | 継続審査 |
| 議案第 84 号                   | 吹田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について                 | 原案可決 |
| 議案第 88 号                   | 吹田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について                         | 原案可決 |
| 議案第 89 号                   | 吹田市交流活動館条例の一部を改正する条例の制定について                       | 原案可決 |
| 議案第 90 号                   | 吹田市立男女共同参画センター条例の一部を改正する条例の制定について                 | 原案可決 |
| 議案第 91 号                   | 吹田市地区市民ホール条例の一部を改正する条例の制定について                     | 継続審査 |
| 議案第 92 号                   | 吹田市立山田ふれあい文化センター条例の一部を改正する条例の制定について               | 継続審査 |
| 議案第 93 号                   | 吹田市立市民センター条例の一部を改正する条例の制定について                     | 継続審査 |
| 議案第 94 号                   | 吹田市立コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について                 | 継続審査 |
| 議案第 96 号                   | 吹田市立市民ギャラリー条例の一部を改正する条例の制定について                    | 継続審査 |
| 議案第 97 号                   | 吹田市立勤労者会館条例の一部を改正する条例の制定について                      | 継続審査 |
| 議案第 98 号                   | 吹田市留守家庭児童育成室条例の一部を改正する条例の制定について                   | 原案可決 |
| 議案第 102 号                  | 吹田市営葬儀条例の一部を改正する条例の制定について                         | 原案可決 |
| 議案第 105 号                  | 吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について            | 原案可決 |
| 議案第 108 号                  | 吹田市花とみどりの情報センター条例の一部を改正する条例の制定について                | 原案可決 |
| 議案第 110 号                  | 吹田市立幼稚園保育料条例の一部を改正する条例の制定について                     | 継続審査 |
| 議案第 111 号                  | 吹田市私立幼稚園在籍園児の保護者に対する補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 継続審査 |
| 議案第 115 号                  | 吹田市立青少年クリエイティブセンター条例の一部を改正する条例の制定について             | 原案可決 |
| 議案第 116 号                  | 吹田市文化会館条例の一部を改正する条例の制定について                        | 原案可決 |
| 議案第 117 号                  | 吹田市民プール条例の一部を改正する条例の制定について                        | 継続審査 |
| 議案第 118 号                  | 吹田市民体育館条例の一部を改正する条例の制定について                        | 撤回承認 |
| 議案第 119 号                  | 吹田市立武道館条例の一部を改正する条例の制定について                        | 継続審査 |

| 議案番号      | 案 件 名                                                     | 議決結果 |
|-----------|-----------------------------------------------------------|------|
| 議案第 120 号 | 吹田市立総合運動場条例の一部を改正する条例の制定について                              | 継続審査 |
| 議案第 121 号 | 吹田市立スポーツグラウンド条例の一部を改正する条例の制定について                          | 継続審査 |
| 議案第 122 号 | 吹田市民会館条例を廃止する条例の制定について                                    | 原案可決 |
| 請願第5号     | 「事業見直し会議」での評価結果を再考し市民サービスを削減させないことを求める請願                  | 不採択  |
| 請願第6号     | 「事業見直し会議」での評価結果を再考し市民サービスを削減させないことを求める請願                  | 不採択  |
| 報 告       |                                                           |      |
| 報告第1号     | 損害賠償額の決定に関する専決処分について                                      | 報告   |
| 条 例       |                                                           |      |
| 議案第1号     | 吹田市債権管理条例の制定について                                          | 継続審査 |
| 議案第2号     | 吹田市長期継続契約に関する条例の制定について                                    | 継続審査 |
| 議案第3号     | 吹田市墓地、埋葬等に関する法律施行条例の制定について                                | 原案可決 |
| 議案第4号     | 吹田市水道法施行条例の制定について                                         | 原案可決 |
| 議案第5号     | 吹田市消防保安事務手数料条例の制定について                                     | 原案可決 |
| 議案第6号     | 吹田市特別職の職員の給与に関する条例及び吹田市特別職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 否決   |
| 議案第7号     | 吹田市の市税条例の一部を改正する条例の制定について                                 | 原案可決 |
| 議案第8号     | 吹田市土地開発基金条例の一部を改正する条例の制定について                              | 原案可決 |
| 議案第9号     | 吹田市印鑑条例等の一部を改正する条例の制定について                                 | 原案可決 |
| 議案第 10 号  | 吹田市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について                   | 原案可決 |
| 議案第 11 号  | 吹田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について                              | 原案可決 |
| 議案第 12 号  | 吹田市身体障害者及び知的障害者福祉年金支給条例の一部を改正する条例の制定について                  | 原案可決 |
| 議案第 13 号  | 吹田市老人医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について                        | 継続審査 |
| 議案第 14 号  | 吹田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について                                | 原案可決 |
| 議案第 15 号  | 吹田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について                                 | 原案可決 |
| 議案第 16 号  | 吹田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について                             | 原案可決 |
| 議案第 17 号  | 吹田市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について                                | 原案可決 |
| 議案第 18 号  | 吹田市自動車駐車場駐車料金徴収条例の一部を改正する条例の制定について                        | 原案可決 |
| 議案第 19 号  | 吹田市下水道条例の一部を改正する条例の制定について                                 | 原案可決 |
| 議案第 20 号  | 吹田市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について                                | 原案可決 |
| 議案第 21 号  | 吹田市社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定について                              | 原案可決 |
| 議案第 22 号  | 吹田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について                                 | 原案可決 |
| 議案第 23 号  | 吹田市立博物館条例の一部を改正する条例の制定について                                | 原案可決 |
| 議案第 24 号  | 吹田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について                                | 原案可決 |
| 議案第 52 号  | 吹田市民体育館条例の一部を改正する条例の制定について                                | 継続審査 |
| 予 算       |                                                           |      |
| 議案第 27 号  | 平成 24 年度吹田市一般会計予算                                         | 原案可決 |
| 議案第 28 号  | 平成 24 年度吹田市国民健康保険特別会計予算                                   | 原案可決 |
| 議案第 29 号  | 平成 24 年度吹田市下水道特別会計予算                                      | 原案可決 |
| 議案第 30 号  | 平成 24 年度吹田市部落有財産特別会計予算                                    | 原案可決 |
| 議案第 31 号  | 平成 24 年度吹田市交通災害・火災等共済特別会計予算                               | 原案可決 |
| 議案第 32 号  | 平成 24 年度吹田市勤労者福祉共済特別会計予算                                  | 原案可決 |
| 議案第 33 号  | 平成 24 年度吹田市自動車駐車場特別会計予算                                   | 原案可決 |
| 議案第 34 号  | 平成 24 年度吹田市介護保険特別会計予算                                     | 原案可決 |
| 議案第 35 号  | 平成 24 年度吹田市後期高齢者医療特別会計予算                                  | 原案可決 |
| 議案第 36 号  | 平成 24 年度吹田市公共用地先行取得特別会計予算                                 | 原案可決 |
| 議案第 37 号  | 平成 24 年度吹田市水道事業会計予算                                       | 原案可決 |
| 議案第 38 号  | 平成 24 年度吹田市病院事業会計予算                                       | 原案可決 |
| 議案第 39 号  | 平成 23 年度吹田市一般会計補正予算（第5号）                                  | 原案可決 |
| 議案第 40 号  | 平成 23 年度吹田市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）                            | 原案可決 |
| 議案第 41 号  | 平成 23 年度吹田市下水道特別会計補正予算（第2号）                               | 原案可決 |
| 議案第 42 号  | 平成 23 年度吹田市部落有財産特別会計補正予算（第1号）                             | 原案可決 |
| 議案第 43 号  | 平成 23 年度吹田市交通災害・火災等共済特別会計補正予算（第2号）                        | 原案可決 |
| 議案第 44 号  | 平成 23 年度吹田市勤労者福祉共済特別会計補正予算（第2号）                           | 原案可決 |
| 議案第 45 号  | 平成 23 年度吹田市自動車駐車場特別会計補正予算（第1号）                            | 原案可決 |
| 議案第 46 号  | 平成 23 年度吹田市介護保険特別会計補正予算（第3号）                              | 原案可決 |
| 議案第 47 号  | 平成 23 年度吹田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）                           | 原案可決 |
| 議案第 48 号  | 平成 23 年度吹田市水道事業会計補正予算（第3号）                                | 原案可決 |



## 贊否一覽表

議長につき、採決に加わっていません。

会派名：自民党絆＝自由民主党絆の会、新選会＝吹田新選会、自治＝すいた市民自治、クラブ＝すいた市民クラブ、み未＝みんなの未来、ネ＝吹田いきいき市民ネットワーク